

本日は佐倉江戸時代まつり

京成佐倉駅南口前では「すとりと奏蘭」そして佐倉市立美術館までの通りは「タイムトラベルストリート」令和—平成—昭和—大正—明治と坂を上り、時代を遡り、上には江戸の街が広がります。さあ、皆さんお出かけください。懐かしいお店や各時代の顔山しパネル8ヶ所設置。今年は佐倉東高校美術部、イラスト研究部の生徒さんも制作してくれました。



ドラゴンへの階段 第7回

《エッセイ版》

佐藤 洋祐

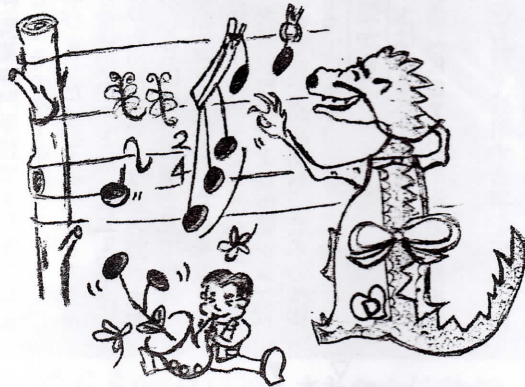
皆さん、こんにちは！こうして筆を執る今、曆では「立冬」を迎え、一年の締めくくりに備える時期になりました。冬「を」も引き締まります。

さて、これまでの連載、「ジャズ」という音楽の素晴らしさをより多くの皆様に「を」をモットーに、「日本レコード大賞」を狙うぞ！という話しをさせていただきました。そのためには、尊敬をいただくことより、愛されることを目指すぞ！というお話しも。さあ、どうしたら皆様に愛されファンになっていただけるのか・・・！？

ってそれがわかれば苦労はありませんよなあ。まだまだ変わり者な私の徒然草ですが、よかったですお読みください。

ここで間違いない事実をひとつ。私が皆様に愛していただけたかどうかは、ひとつの「結果」です。レコード大賞を獲れるかどうかも、皆様からいただく評価も同様に「結果」。私が自分がやりたいこと、やるべきと思うことをやりつくしたあとの一つの結果です。私にはどうしようもないものでもありません。ですから、結果の良し悪しをあまり気にしても仕方ないとも思っています。

大事なことは、私が「より多くの方々に愛され、レコード大賞を獲りたい！」と心の底から強く願って、そのためにいろいろな企てをやっていくことなんですね。



「音を集めて」

ですから、そんな企てに予想したほどいい結果がついてこなかったとしても、くよくよせずに楽しく前に進んでいくこと。そして、たとえ少なくともそこに集まってくださった方との交わりを大切にいくことが僕にとっての「ワクワク♥」になっていて、その「ワクワク♥」を少しでも多くの方と共有していけたらと思っっているんです。

私がこうして大人になるまでの数十年間で、世の中は大きなスターがいて、その音楽を聴き手が受け取る、そういう図式がはつきりしていた時代。聴き手にはあまり選択の余地はなく、テレビから流れてくるものを聴く、というのが音楽の楽しみ方のほとんどでした。でも今は聴き手が自分の好きなアーティストを、星の数ほどいる音楽家の中から探し出して楽しむことで、聴き手側がアーティストを育てる時代。

「音楽はいつも聴き手が主役」という信念を持つ私としては、とてもいい時代になりました。こうして「ドラゴンへの階段」という名前の企画の元、エッセイを書かせていただいていますのも、そんな「ワクワク♥」を生み出すための楽しい「企み（たくらみ）」の一つなんです。

もしよかったですら、こんな僕と一緒にワクワクしてください！

挿絵 TAKAKO

佐藤 洋祐（サトウ ヨウスケ）

ジャズミュージシャン。サクソフ奏者としてグラミー賞を2度受賞、ノミネートは4度。海外での活躍で世界的に高い評価を得た。その後2015年、千葉県に住まいを移し現在に至る。